

氏 名：堀之内 若名
学位の種類：博士(看護学)
学位記番号：博看護第10号
学位授与の要件：学位規則第4条第1項該当
学位論文題目：人工股関節全置換術を受けた患者の股関節の状態と自己管理行動実施との関連
研究指導教員：廣島 麻揚
研究副指導教員：李 廷秀
論文審査委員：(主査)谷本 真理子 (副査)佐々木 美奈子
(委員)米山 万里枝 (学外審査委員)佐藤 政枝

論文審査結果の要旨

堀之内若名氏の博士論文は、4名の審査委員によって、書面による審査及び口頭試問によって厳正に審査された。

本報は、人工股関節全置換術（以下、THA）を受けた患者の、QOLに大きく影響する股関節の状態と自己管理実施との関連を明らかにしたものである。不要な合併症や再置換術を避けるために必要とされる様々な合併症を予防するための自己管理を支援するために取り組まれた。

THAを実施している5施設の外来に通院している患者411名に対して、属性、自己管理行動、股関節の状態に特化した股関節関連QOL尺度（JHEQと略す。「痛み」「動作合計」「メンタル合計」の下位尺度から構成）で構成される質問紙調査を作成して調査した。288名から得られた結果を統計解析を行った結果、自己管理行動は「動作合計」の状態がよいほど自己管理行動をしていないこと、「メンタル合計」は股関節の状態がよいほど実施していること、等が示された。

THA後の患者の調査は比較的小規模な調査に限られているが、本研究では5施設の外来患者に調査を行っている。患者のQOLに大きく影響する股関節の状態に着眼し、患者の自己管理行動、属性との関連を検討とした点において新規性があった。また、長期にわたり合併症を予防が求められる患者に対して、股関節の状態をふまえた看護援助への示唆が得られる研究であったと評価する。以上より、本研究を「博士論文として認定できる」と判断する。

令和7年 2月 26日

論文審査委員（主査） 谷本 真理子